



## ラボツアーⅢ（研究室訪問）京都大学・大阪大学へ

10月26日（木）、1年生環境科学科を対象に**ラボツアーⅢ（研究室訪問）**を実施し、京都大学と大阪大学を訪問しました。今回のSSHニュースでは**大阪大学**での見学について紹介します。

午前中は大阪大学吹田キャンパスにある**「蛋白質研究所」**を訪問しました。蛋白質研究所という名前の施設は日本で大阪大学しかなく、60年の歴史があるとのこと。まず、蛋白質研究所の高木先生が「人体と蛋白質」と題して、1時間程度の講義を受けました。蛋白質の話以外にも進路選択や研究についていろいろとご教授いただきました。その後、複数の班に分かれ、施設見学をさせていただきました。日本に数台しかないクライオ顕微鏡やX線結晶構造解析の装置等を見せていただきました。



午後からは**「産業科学研究所」**を訪問しました。まず、産業科学研究所の小野先生が「2次元材料グラフェンを用いたバイオセンサー」と題して、1時間程度の講義を受けました。グラフェンは高校の授業でも扱っており名前は知っていたため、なじみ深い物質の有用性が理解できて、大変勉強になったかと思います。研究をしていく過程で「別の観点から確かめる」「たくさんのデータに目を向ける」という先生のお言葉が印象的でした。その後、複数の班に分かれ、施設見学をさせていただきました。量子ビーム科学研究施設や総合解析センター、ARIM、各研究室を見せていただきました。



産業科学研究所の見学終了後、**本校卒業生で現在大阪大学に通っている環境科学科11期生の西さん・亀岡さん・藤原さん、13期生の中村さん**と交流しました。大阪大学の紹介や大阪大学を選択した理由、高校時代の課題研究の内容、大学での研究内容、高1生に向けてのアドバイス等についてお話をいただきました。



☆11月14日（火）に2年生環境科学科でも**ラボツアーⅢ（京都大学・大阪大学）**を実施します。